

《 幹事報告 》 土屋一博 幹事

④ 地区 クラブ米山委員長会議開催のご案内

日時・場所：9月6日(土) 14:30~16:30、ホテルバローム紀の国2階
岸 米山記念奨学会委員長、ご出席宜しくお願い致します。

⑤ 9月9日(火) に第2回 和歌山市内9RC 会長幹事会 (ホスト 和歌山 RC) がロイヤルホテルにて開催されます。
会長・私 幹事2名で出席いたします。

⑥ 本日例会終了後、定例理事会を開催致します。役員・理事の皆様、宜しくお願い致します。

《 ニコニコ箱報告 》 釜坂恒夫 会計

小林君：IDM リーダー様、IDM発表よろしくお祈りします。

土屋君：先日、台北東南RCからLINE がきました。

ゴルフを含めた式典の参加計画を進めているらしいです。

IDM B班：残金です。

本人お誕生日お祝い：登立君。



《 55周年BOX 》

小林君：趣旨に賛同して。

竹中君：残暑お見舞い申し上げます。55周年よろしくお祈り申し上げます。

坂本君：IDM 各班リーダーの皆様 発表よろしくお祈り致します。

岸君：趣旨に賛同して。

中君：つたないIDM発表させていただきます。



♪ 9月 本人・配偶者お誕生日お祝い ♪ ♪おめでとうございます。 ♪



♪ ソング斉唱 ♪

山田ソング委員長

「君が代」「われ等和歌山東南ロータリー」

坂本会員「Birthday SONG」



《 第1回IDM発表 》 ロータリー情報・規定委員会
テーマ「親睦を深めるために」自由テーマ

A 班 リーダー 赤在依美 サブリーダー 登立健一（発表者）



今回のテーマは【親睦を深めるために】（自由テーマ）です。
情報規定委員長より、次の3つを柱としていただきました。

1. 創立55周年記念式典を目前に控え、全会員の相互理解と協力を深め、皆で盛り上げていくこと。
2. 退会防止や会員増強に向け、会員同士の親睦が欠かせないこと。
3. これまで培ってきた伝統を大切にしつつ、より良きクラブをつくるために必要なこと。

このテーマをもとに、竹中会員・中曾会員・登立会員・寺下会員・赤在の5名で、田舎茶屋やましたさんにて和やかに意見交換を行いました。

最初に話題になったのは「例会に積極的に参加すること」。やはり顔を合わせることで張り合いが生まれますし、昼と夜の例会があるため、自分の生活リズムに合わせて出席しやすいのも魅力です。この特長を活かし、「参加しやすいクラブ」であることをアピールすれば、会員増強にもつながるのではないか、という意見が出ました。

また、ロータリーは本来「親睦」を大切にしてきた団体です。創立55周年という節目の年だからこそ、できる限り“顔と顔を合わせたコミュニケーション”を大事にしたいところです。Zoom（リモート）では笑顔も半分しか伝わらないように感じますが、対面なら笑い声まで自然に広がります。やはりこれこそがロータリーの魅力だと改めて感じました。

さらに、「会員卓話をもっと増やそう！」という意見もありました。お互いの職業や仕事内容を知ることで、普段の会話が広がるだけでなく、仕事のヒントやアドバイスが得られることもあります。「へえ～そんな仕事をされていたんですね！」という新しい発見が、親睦を深めるきっかけにもなります。そのほか、例会の開催方法に工夫を加えるのも良いのではないかと、という提案もありました。例えば、いつもと違う場所で例会を開いてみたり、ご家族にも参加していただけるイベント型の例会を企画したり。たまには“遠足気分”で例会を行うのも、新鮮で楽しいのではないのでしょうか。創立55周年を迎えるこのタイミングは、単なるお祝いの年ではなく、「親睦をさらに深める大きなチャンス」だと思います。会員同士のつながりを強め、これからも笑顔の絶えないクラブをつくっていただければと感じました。

B 班 リーダー 岸 真寛 サブリーダー 中岡隆文



日時・場所：9月2日（火）18：30～、「いわ橋」和歌山市吉田

参加者：岸・中岡会員・辻本会員・鯨会員・鰻坂会員・松田会員

退会防止と会員増強について

クラブを力強く存続させるためには、退会防止と会員増強が常に重要課題となっています。その基盤となるのは、会員間の親睦という事に改めて結論付きました。親睦とは英語で“フレンドシップ”と表現されると鰻坂会員が述べ、単なる聞こえの良い友情ではなく、互いを理解し合い、信頼を育み、奉仕の心を高めていく関係性が大切だと話し合いました。

昨日のように、班に分かれて美味しい料理やお酒をともにしながら、ユーモアを交え、少しくすっと笑える“かつこ悪い部分”も分かち合える関係があれば、クラブに温かさと安心感が生まれます。その居心地の良さが退会防止となり、新たに加わる会員にとっても居心地の良い、人間味のある魅力あるクラブになるのではないのでしょうか。

昨日の話題では、ゴルフの絶えまない努力とその影響から来る体の変化や、男のみだしなみに気を配る中でのささやかな工夫など一見するととるにたらない事ですが、そうしたやりとりが笑顔を生み、お互いの距離を縮めてくれるものと存じます。

親睦は奉仕

実は昨日のIDM委員会で、山本会員のお父様のお話が出まして、「親睦は奉仕そのものだ」と言われた言葉が今でも非常に印象的で、今でも、この言葉は、ロータリーの親睦の本質ではないかと思う

と、辻本会員がおっしゃられました。

親睦と奉仕は、これまで別々のものと考えられることが多かったと思います。奉仕は寄付や行動で誰かのために尽くすこと。親睦は仲間との交流や楽しみの時間。そう区別してしまいがちですが、よく考えてみると、互いを理解し合い、支え合い、相手の話に耳を傾けることも立派な奉仕となりえるのではないのでしょうか。東南ロータリーには、親睦で培った仲間がいて。楽しい時はもちろんの事、困ったときにも気軽に声をかけ相談し合える関係こそが、ロータリーの力の源泉となりうるのではないのでしょうかという事でした。

つまり、親睦は「奉仕の土台」となり、時に「奉仕そのもの」といえるという事でした。親睦があるからこそ、クラブの活動に力が集まり、社会への奉仕がより大きなものになります。この一言は、ロータリーの本質を改めて示していると昨日の会では、これは今日のまとめの言葉だと、盛り上がりました。

C 班 リーダー 中 弘 サブリーダー 手拝誓哉



日時・場所：8月29日（金）18：30～「魚々家」

参加者：保田会員、中谷会員、山田会員、塩崎会員、山本会員、手拝会員、中会員

およそ人が集いあう会運営には、その会員の相互理解と協力が不可欠であり、そのためには、まず会員相互の親睦を深め、その事業展開を盛り上げる必要があることは言うまでもない。

しかし、IDM において、古い会員が語る東南ロータリーのこれまでの歴史から、その運営や在り方については決して平穏な日々ばかりであったのではなく、改革を求める新しい会員の声と、これに反撥して抑圧する古い会員との間での葛藤のあったこと

とは否定できない、とのことであった。

日々変化し、一刻と言えど同じ態様にとどまっていないうロータリーにあっても、常に新しい会員の相互理解とその協力のもとに、新しく未来に向かっての融和を模索してこそ、東南ロータリーの伝統が生きることを学んだ一日でした。

D 班 リーダー 平 平治 サブリーダー 太田豊隆



日時・場所：8月21日（木）18：30～、六つ葵（アバローム紀の国 1F）

出席者：太田会員、吉田会員、土屋会員、メイクアップ 小林会長、平

まず、会の活性化という、会員増強は不可欠である。その為には会員1人に対して、1名増強できるように推薦する方をあげる。

次に出席率を高める方法では、日ごろから会員相互間の親交を深め、楽しい例会にする。

又、災害時等には姉妹クラブへのお見舞いの電話でお伺いをする。

姉妹クラブとの成り立ちや歴史をよく理解して検討し、今後に生かす。

物故会員の選出について規約を再考する。

第1回 IDM「総評」 ロータリー情報・規定委員長 坂本武司



各班のリーダー並びにサブリーダーの皆様、発表ありがとうございました。今回は「親睦を深めるために」を目的とする自由テーマで開催させていただきました。大変難しいテーマであるにもかかわらず、各班のリーダーの皆様ありがとうございました。

創立 55 年の節目に伴い、今日に至るまでに先輩会員の皆様が築きあげてこられた伝統や歴史を振り返り、そして今後の会員増強や例会の進め方、更には物故会員選出の規則に至るまで幅広い意見交換が行われた様子をお聞きし、より親睦を深められた IDM になったのではないかと思います。

※ 第2回 IDMテーマ発表

発表は令和7年10月29日（水）例会

テーマ 【例会・各小委員会・クラブ内行事において、より出席率を高めるためには・・・】